

浜学園	6年							
	算数							
学習内容	No1 いろいろな数(1) No2 いろいろな数(2) No3 規則性							
家庭学習 ポイント	「いろいろな数(1)」では、分数と小数の関係や計算の工夫の仕方、演算記号、魔方陣、虫食い算、概数の範囲、逆算、などを学習します。魔法陣や虫食い算はまとまった時間をとって習う機会が少ないですが、この機会にしっかり取り組んでおくと良いですね。「いろいろな数(2)」では。小数分数の混合計算。部分分数分解。既約分数に関する問題全般、N進法の考え方などが扱われます。既約分数に関する問題は入試頻出です。考え方とベン図による整理のしかたをおさらいしておきましょう。「規則性」では等差数列、群数列(増殖型のものも)、異なる2つの数列の複合、フィボナッチ数列、数表(応用)、曜日当てなどまでが学習範囲です。6年生ですから、1回の授業で扱う内容は膨大になっています。「もう大丈夫なもの」「まだ課題を抱えているもの」にしっかり内容を分類し、整理しながら学習を進めていきましょう。講習会での復習の機会はあるものの、1回1回の授業で完全に習得するつもりで取り組むことが大切です。							
課題の把握 と解決 策	チェック1 分配法則を使いこなしていますか？ 解決策 定番の計算の工夫方法ですね。どんどん使いましょう チェック2 「以上」「以下」「未満」「より大きい」など使いこなしていますか？ 解決策 「あやふや」なものがある場合は、No1で完全理解を目指しましょう チェック3 N進法の考え方を理解していますか？ 解決策 2進法は「2を使わない」(0と1しか使わない)数え方ということになりますね チェック4 曜日当ての問題で「1日違い」が多くないですか？ 解決策 多いなら、理解のどこかに問題があります。つきとめて解決しておくことが必要です チェック5 1回1回の授業で完全理解を目指していますか？ 解決策 6年生の授業では「今回が最後の機会」といった気持ちで取り組みたいですね	チェック	□	チェック	□	チェック	□	チェック
浜学園	6年							
	国語							
学習内容	説明文 物語文 隨筆文							
家庭学習 ポイント	「知識分野の達人」の第1章「漢字の読みと書き」、「漢字の書き取り」、第2章の「かなづかい・送りがな」第3章の「辞典の使い方」を学習します。漢字は「字」だけに注目するのではなく、意味、その漢字が使われるシチュエーションなども考えていきましょう。例文がある場合は、一文をヒントにして自分なりに意味を考えてから、答えを見るようにすると定着しやすくなります。「合格完成への道」の読解では、No.1～No.3の各単元で説明文と物語文を学習します。「合格完成への道」の読解では、難関校の過去問と同じ文章題も扱われています。記述問題に苦戦するかもしれません。まず、記述問題のタイプを確認しましょう。本文中から探し出した箇所を繋げて、文末を整えることで解答が出来上がる設問なのか、自分の言葉で説明する設問なのか、把握して下さい。そして、答えの核となる部分を決め、解答の最後に持っていきましょう（記述問題の答えは文末から考えると組み立てやすくなります）。							
課題の把握 と解決 策	チェック1 説明文の読解では、逆説の接続語に注目していますか？ 解決策 まずは一般的なことを説明し「しかし」などの後に筆者の考えが述べられることはよくありますね チェック2 物語文の読解では、場面の変化から登場人物の心情を読み取っていますか？ 解決策 物語文の代表的な読解法ですね。情景がそのまま登場人物の心情を表していることが多いです チェック3 隨筆文の読解では、筆者の考えと事実を読み分けていますか？ 解決策 「つまり」「要するに」などの後には筆者の考えが述べられます チェック4 記述問題の答え方がつかめましたか？ 解決策 本文中の言葉をつなげるのか、自分の言葉で答えるのか、から考えてみましょう チェック5 語彙をコツコツと増やす努力を続けていますか？ 解決策 知識をつける勉強は入試当日まで、と心得てコツコツ取り組みましょう	チェック	□	チェック	□	チェック	□	チェック

浜学園	6年						
	理科						
学習内容	いろいろな天体 夜空の星の動き 地球と太陽Ⅰ 地球と太陽Ⅱ						
家庭学習 ポイント	2月はいろいろな天体、夜空の星の動き、地球と太陽について学習していきます。星の日周運動と年周運動の計算問題を正確にできるかどうかで、差がつく単元です。星の日周運動と年周運動の計算問題では、1日のうちの動きであれば、星が1時間に15度動いて見えるという知識を用い、数ヶ月単位の動きについては星が1日に1度（1ヶ月におよそ30度）動いて見えるという知識を用いるといった具合に、きちんと分けて正確に使いこなすことが大切です。星が動く（動いて見える）方向はいずれも「反時計回り」ですね。星座早見盤についても、日付と時刻の合わせ方（とともにどのように表記されているか）をしっかり確認しておきましょう（ぜひ実物を入手してください）。時間（日数）がたつと星たちは反時計回りに回転していくので、そのときに時刻や日付がどのように移り変わっていくかを、実際に回転させて確認してみてください（そうすると星座の書かれた盤に書かれた日付が時計回りに進むように書かれている理由がわかると思います）。						
課題の把握 と解決 策	チェック1	天体の日周運動と年周運動を理解できていますか？	チェック				
	解決策	日周=1日1周=24時間で360度=1時間15度、年周=1年1周=1年で360度=1ヶ月30度ですね	<input type="checkbox"/>				
	チェック2	星座早見盤の日付と時刻の表記を理解していますか？	チェック				
	解決策	日付は時計回りに進むように、時刻は反時計回りに進むように表記されています	<input type="checkbox"/>				
	チェック3	恒星・惑星・衛星の定義を説明できますか？	チェック				
	解決策	恒星=自分で光を出している星、惑星=恒星の周りを公転する星、衛星=惑星の周りを公転する星	<input type="checkbox"/>				
	チェック4	太陽の南中高度、南中時刻を求めるのに必要な情報を答えられますか？	チェック				
	解決策	公式を知っていることではなく、どのような情報があれば計算できるか知っていることが大切です	<input type="checkbox"/>				
	チェック5	北半球で観測すると、日食、月食は太陽、月が（右・左の）どちらから欠けて見えますか？	チェック				
	解決策	太陽は右、月は左からですが、模式図を見ながら「なぜそうなるか」を考えておきましょう	<input type="checkbox"/>				
浜学園	6年						
	社会						
学習内容							
家庭学習 ポイント							
課題の把握 と解決 策			チェック				
			<input type="checkbox"/>				
			チェック				
			<input type="checkbox"/>				
			チェック				
			<input type="checkbox"/>				
			チェック				
			<input type="checkbox"/>				
			チェック				
			<input type="checkbox"/>				